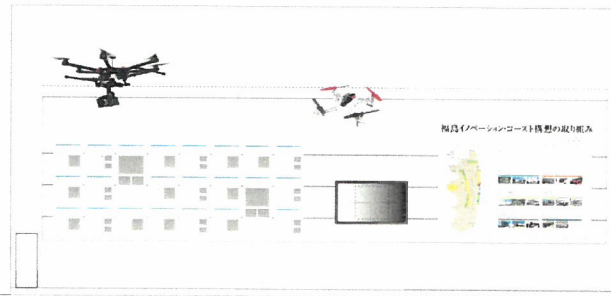


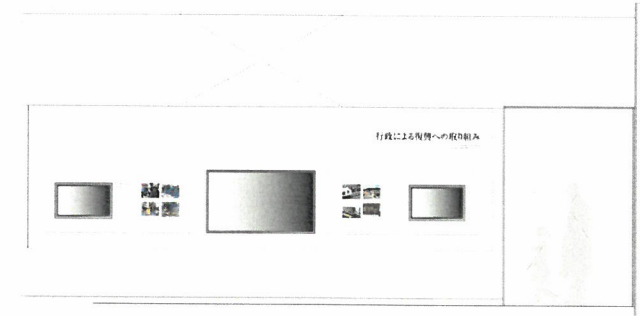
A5-3 ELEVATION: B



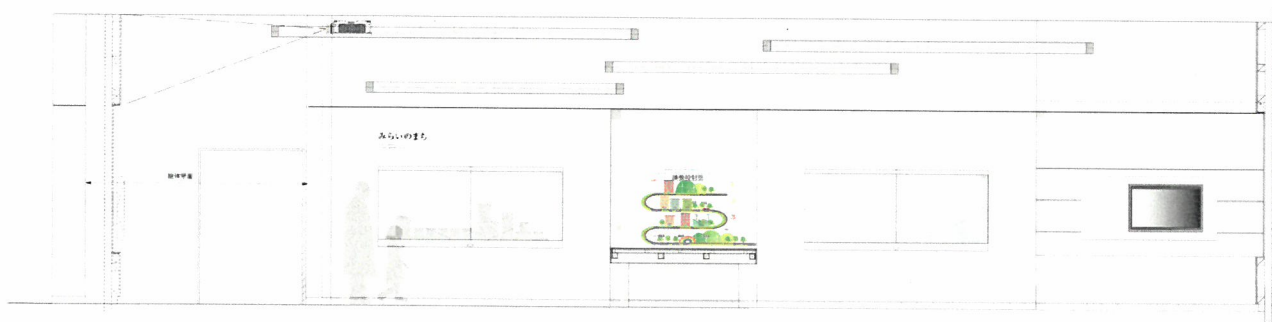
A5-2 ELEVATION: A



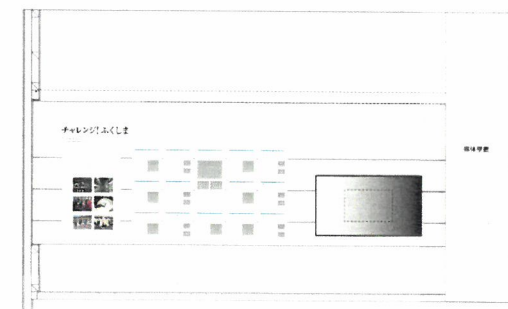
A5-1 ELEVATION: B



A5-4 ELEVATION: A



A5-6 ELEVATION: B



業種名称 東日本大震災・原子力災害アーカイブ拠点施設	チェック +	日付	設計	備考	図面名称 展示室 平面・展開・詳細図	縮尺	図面番号 A5
-------------------------------	-----------	----	----	----	--------------------------	----	------------

承認欄

# 行政による復興への取り組み

Aaaaaaaaaaaaaa

简体字简体字 繁體字繁體字 한국어한국어



新幹線が再開線 福島駅  
Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa



福島復興公営住宅 郡山駅  
Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa

現在、福島県においては、住まい、買い物、医療、教育、交通機関等住民の帰還に向けた生活環境整備が進められています。  
このコーナーでは、復興公営住宅の整備、商業施設、医療施設の開所、小・中学校、常磐線の全線再開通など、地域の復興に向けたさまざまな取り組みを紹介します。

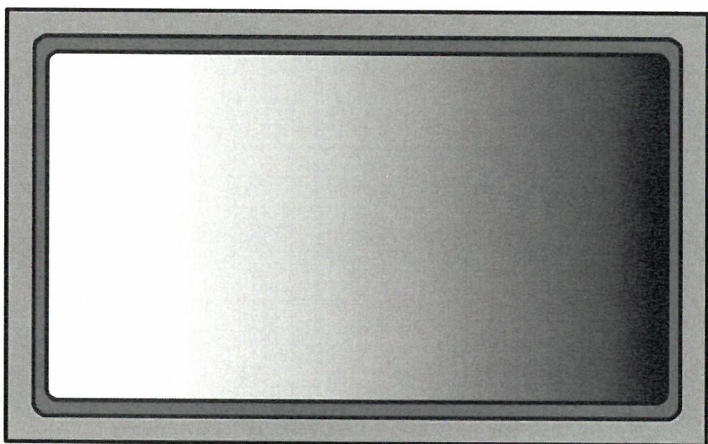
Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa  
Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa  
Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa  
Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa  
Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa  
Aaaa Aaaa (20)



公立図書館 郡山駅前 郡山駅  
Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa



○○○○○ (○○○)  
Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa Aaaa



<p>業種名称 東日本大震災・原子力災害アーカイブ拠点施設</p> <p>展示基本設計図</p>	<p>チェック</p> <p>+</p>	<p>日付</p>	<p>設計</p>	<p>備考</p>	<p>図面名称 展示室</p> <p>平面・展開・詳細図</p>	<p>縮尺</p>	<p>図面番号 A5-1</p>
--	----------------------	-----------	-----------	-----------	--------------------------------------	-----------	----------------------







## ふくしまの未来に向けて

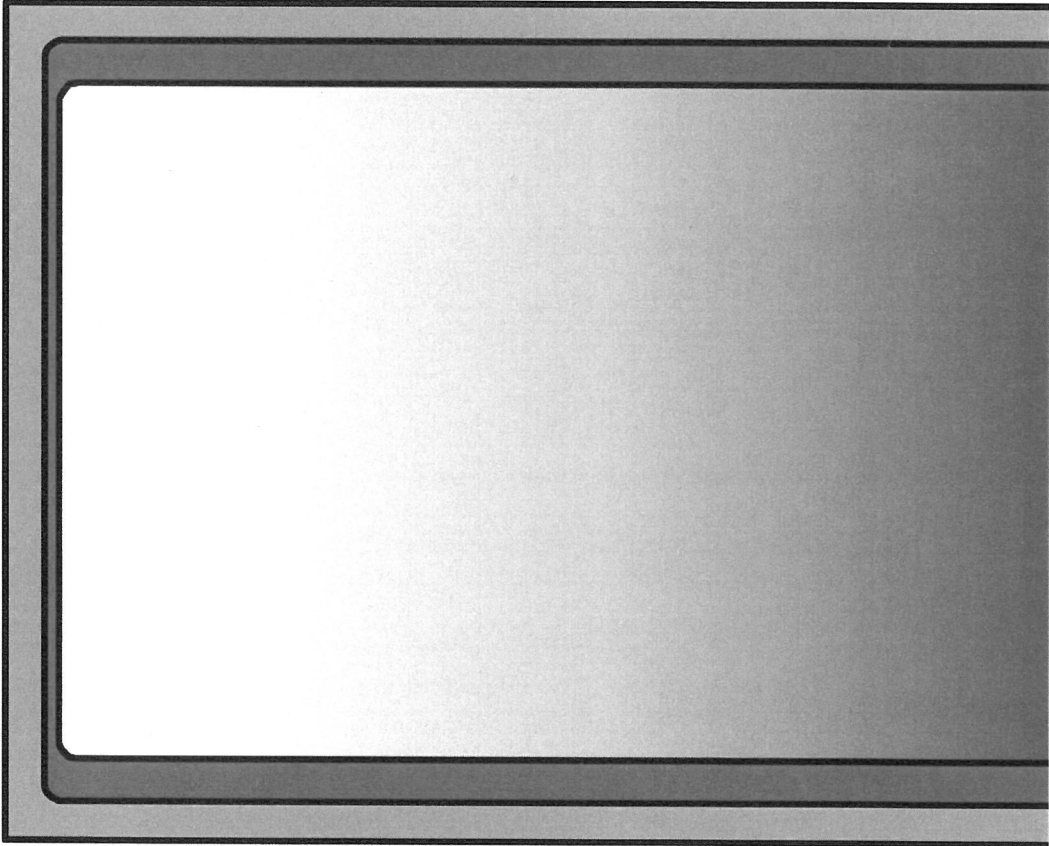
東日本大震災および原子力発電所事故により、福島県はさまざまな困難に遭ってきました。

苦しみをバネに新しい一歩を踏み出した人も、いまだ葛藤する人も、それぞれの形で復興への歩みを進めています。そして、ふるさとの未来に特別な想いを寄せています。

ここに紹介するモザイクアートは、福島を想う人々の、未来へのメッセージを後世に継承し、世界に発信していくために、県内各所で撮影された写真を集めてつくられたものです。

### AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA



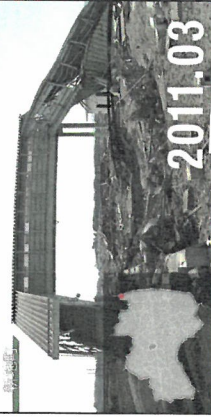

AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA  
 AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA  
 AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA  
 AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA  
 AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA  
 AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA  
 AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA  
 AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA AAAAA



業務名称 東日本大震災・原子力災害アーカイブ拠点施設	チェック +	日付	設計	備考	図面名称 展示室 平面・展開・詳細図	縮尺	図面番号 A5-4
-------------------------------	-----------	----	----	----	--------------------------	----	--------------



復興する街全体演出案（タイムラプス映像）

1		オープニング
2		タイトル
3		
4	Photo	Photo
5	Photo	Photo
6	Photo	Photo
7	Photo	Photo
8		

新地町  
○○○○○○○○○○○○○○○より

相馬市  
○○○○○○○○○○○○○○○より


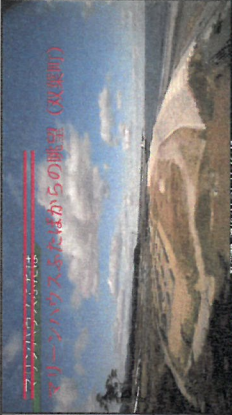
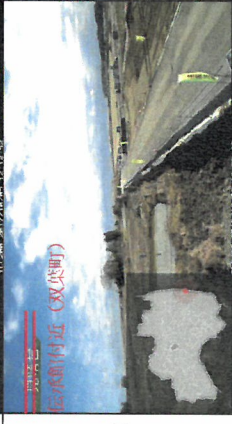

南相馬市  
○○○○○○○○○○○○○○○より

浪江町  
○○○○○○○○○○○○○○○より

橋葉町  
○○○○○○○○○○○○○○○より

天神岬展望台からの眺望（橋葉町）



9	 <p>マリーンハウスふたばからの眺望 (双葉町)</p>	 <p>マリーンハウスふたばからの眺望 (双葉町)</p>	マリーンハウスふたばからの眺望 (双葉町)
10	 <p>伝承館付近 (双葉町)</p>		伝承館付近 (双葉町)

映像尺 約3:00

※) 左上に出る地名に関しては、その地域のタイムラプスが映っている間は常に表示するようにします。

行政による復興への取り組み 事例候補

No.	分野	施設等	自治体	概要	
1	防災	オフサイトセンター		福島第一原子力発電所事故を教訓に、電源や通信の多重化・多様化を図るとともに、施設内での被ばく放射線量を低減させるための設備等を整備しました。 また、播磨の代替オフサイトセンターを確保するなど緊急時に備えています。	105 1
		避難計画		今後が第一、東京電力福島第一原子力発電所または第二原子力発電所において、新たな原子力災害が発生した場合などに備え、住民避難等の応急対策を迅速に行うため、福島県は2014年「福島県原子力災害広域避難計画」を策定しました。 この計画では、関係市町村毎に、避難先市町村や基本的な避難ルートを定めるなど、広域避難の基本的な枠組みを示しています。	170 2
2	防災 減災	防潮堤		津波による浸水被害を受けた地域で、海岸堤防のかさ上げ、防災緑地、道路、土地利用など復讐の手法を組み合わせた「多重防護」と、避難路の確保や情報伝達手段の拡充などにより、総合的に防災力の高いまちづくりを担っています。	107 3
		津波浸水想定		過去に福島県沿岸に津波被害をもたらした地震や、将来東北大震災の津波をもたらすと想定される地震を想定し、津波シミュレーションを行い、各地で最大となる「浸水域」と「浸水深」を設定し、津波浸水想定区域図を作成。	102 4
3	避難者 対応	避難所対応		東日本大震災における避難所以外の場所に滞在する被災者への配慮が新たに規定。各自治体の避難所運営生活環境の整備や避難所以外の場所に滞在する被災者への配慮が新たに規定。各自治体の避難所運営マネージャが見直された。	105 5
		コミュニティ支援		コミュニティ交流員の配置や自治組織の活動支援などにより、避難先などの生活拠点におけるコミュニティ維持・形成を図っています。	61 6
8	漁港	請戸漁港	浪江町	津波で大きな被害を受けた浪江町の請戸漁港は2017年に復旧。2020年4月には荷捌き施設において約9年ぶりに釣り再開されました。	65 16
		富岡漁港	富岡町	富岡漁港は2019年7月に復旧しました。富岡漁港の再開で福島県内10の漁港がすべて利用可能となりました。	52 17
9	交通インフラ	常磐自動車道		福島県浜通りの大動脈として、2015年3月に全線開通しました。2020年までに避難指示が解除された区域などにおいてインターチェンジが追加で整備され、復興事業の推進や住民・訪問者の移動・交流を支援しています。	102 18
		相馬福島道路		原発事故に伴う避難指示等により一部不通になっていましたが、2020年3月に全線が再開通しました。 東京からのアクセスが向上し、復興の加速化が期待されています。	0 19
10	祭り	JR常磐線		震災前の1999年から、双葉8町住民の交流の場として開催されていた「ふたばワールド」。双葉地方のみずなをテーマ、復興に向けた意識を高める場として2013年に復活。地域の意向を踏まえたイベントや物産展などのほか避難先からの送迎バスの運行により、双葉地方の住民が再会を喜び、交流を深める機会となっています。	151 21
		まくら祭り	富岡町	富岡町夜ノ森地区は地域が誇る祭の名所です。約2kmの仮木末が桜のトンネルをつくり、震災前は毎年〇〇万人が訪れていました。原発事故に伴い避難指示区域に指定されましたが、2017年避難指示の一部解除に伴い8年ぶりに仮まつりが復活しました。	119 22
11	スポーツ	【共通】 スポーツ		日本有数のサッカートレーニング施設である「グレイブス」が立地する双葉郡は、震災前からスポーツが盛んな地域でした。スポーツを活かした復興にも取り組んでおり、震災後も新しいイベント等も展開されています。	98 23
		ワールドかつらち	葛尾村	2017年11月にLinkTOHOKU主催と葛尾村共催で第1回大会が開かれた、全国有数の距離（1周約30km）と高低差を誇る自転車公道ロードレースです。	76
12	海水浴	川内の鯛かえろラン	川内村	川内村の児童が、村の将来を考える特別事業「復興子ども教室」で提案し、実現したマラソン大会。2016年4月に第1回大会が開催。原発事故で避難している住民の帰還を呼びかける思いも込められている。	96
		【共通】 海水浴場		津波被害と原発事故のため休廃止を余儀なくされた福島県の海水浴場。海岸の復旧や放射線量のモニタリング検査による安全性の確認を行いながら徐々に再開が進んでいます。サーフィンや海水浴で断つ震災前の姿を取り戻す挑戦は続いています。	110 24
13	伝承	釣師浜海水浴場	新地町	いわき市の復興状況に関するパネル展示や、実際の津波映像等の放映、VR体験による津波の再現映像、震災語り部による講話を行うほか、資料の収集や情報発信などを通して、震災の記憶と教訓を伝える施設です。（2020.5月開催）	108 25
		原釜尾浜海水浴場	相馬市	津波で失われた沿岸地域を伝える「原釜尾」や震災後の状況を写真やパネル写真で紹介しています。巨大津波を映像で紹介する展示コーナーや犠牲者の名前を掲げた追悼場所などが展示されている施設です。（2015.5開催）	102 26
4	買い物	さくらモール	富岡町	2017年3月グランドオープン。スーパー、ホームセンター、ドラッグストア、飲食店3店の店舗が入居している。	54 7
		ここなら実店舗	楢葉町	2018年6月オープン。スーパー、ホームセンター、飲食店、ベーカリー、理容室、クリーニング店等の計10店舗が入居している。	61 8
5	医療	小高ストア	南相馬市	0	0 1 9
		ふたば医療センター		原発事故により双葉地域には入院できる医療機関がゼロに。2018年4月、富岡町においてふたば医療センター附属病院が開院。救急医療など、双葉地域の住民の健康を守っている。	83 10
6	子育て 教育	多目的医療用ヘリ		2018年10月、双葉地域で発生した救急患者への対応、近隣の医療機関と高度専門的な治療が行える医療機関間の患者搬送、専門の医師、医療スタッフや医薬品、医療資機材の緊急搬送などを行う、医療用のヘリコプターが導入されました。	111 11
		こども園		浪江町では2018年に、富岡町では2019年にこども園が開園。避難指示が解除された区域において、子育て環境の整備が進む。	60 12
7	交流	義務教育学校		2020年4月、飯沼村において小中学校9年間の教育を一貫して行う村立の義務教育学校「いいたて希望の里学園」が開校。原発事故による児童・生徒数の激減を受け、学校機能を集約して教育の質の向上を目指している。	102 13
		ふたば未来学園	広野町	2015年4月ふたば未来学園高校開校。2019年4月同中学校開校。「実業者たれ」という「建学の精神」のもと、「自立」、「協働」、「創造」を校训として「未来創造型教育」を展開。専門家や地域の方々と連携しながら活動を進め、最終的には国内外で発信や提言を行っています。	129 14
7	交流	小高産業技術高校	南相馬市	2017年4月小高産業技術高校開校。福島イノベーション・コースト構想の目指す新たな産業集積に対応できる幅広い視野と高度な専門性を身につけるための先端技術教育を実施。	82 15
		産業交流センター	双葉町	ふたば町内の交流人口の回復に向けた先行的な総合拠点として、避難指示解除後もなく整備されしめた。資材事務所や小売店、飲食店など総合的な機能を整え、就労者、来訪者、市民のニーズを広く受け止める施設です。	98 16
		までい館	飯沼村	避難指示解除後の備付に即応するための生活必需品販売施設を備え、湯村をサポートする復興拠点で、重点店に絞るにも設定されています。村基幹産業である農業の復興のため「花」をキーワードに先進的取組を実施しています。	102 17

# 困難が想定される廃炉の全貌 原子炉建屋レリーフに投影されるマッピングでダイナミックに見せ 想像力を掻き立てる

■企画概要 廃炉の進め方を段階的に中長期ロードマップの工程に則り解説。

どのように廃炉作業が進んでいるのか、  
現状どのようなことが課題となっているか理解を深めます。

■演出概要 壁に設置された原子炉建屋のレリーフの上に映像を投影。

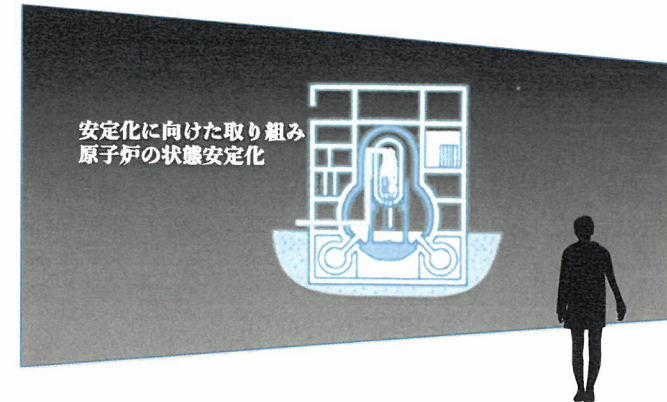
覆いで困われた建屋内ではどのように廃炉作業が行われているのか  
また廃炉作業が終わるとどのような光景が広がるのか…  
想像力を掻き立てます。

単なる廃炉作業解説にとどまらず、ダイナミックなマッピングを使用  
することで飽きさせずに見せる工夫を行います。

■映像について

- ・BGMや効果音は映像に合わせて挿入します。  
ナレーションは挿入せず、文字スーパーで解説をしていきます。

- ・投影する原子炉建屋は、最も廃炉が困難と考えられる1号機を  
想定して作成します。



## ■構成の流れ

### 安定化に向けた取り組み 原子炉の状態安定化 約40秒/40秒

◆目的  
原子炉を冷温停止状態にし放射線量を下げ廃炉準備をする

- ◆廃炉の進め方
- ①原子炉内や燃料プールに注水
  - ②使用したの水は除染処理等して循環しながら再使用する
  - ③原子炉が冷温停止状態になる

### 第1期 使用済み燃料取り出し開始までの期間 約25秒/1分5秒

◆目的  
瓦礫を撤去したり放射性物質飛散防止のためカバーなど設備を設置する

- ◆廃炉の進め方
- ①原子炉建屋上部にあるオペレーティングフロアの瓦礫撤去
  - ②専用クレーンや放射性物質飛散防止のためのカバーなど設備を設置

課題1  
汚染水の処理

### 第2期 使用済燃料の取り出し、燃料デブリ取り出し開始までの期間 約20秒/1分25秒

◆目的  
原子炉建屋上部に貯蔵されている使用済燃料を取出す

- ◆廃炉の進め方
- ①専用クレーンで使用済み燃料を取り出す

### 第3-1期 燃料デブリの取り出し、廃止措置終了までの期間 約35秒/2分

◆目的  
格納容器内の状況を確認し燃料デブリを取り出す

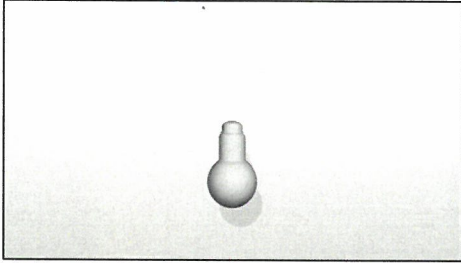
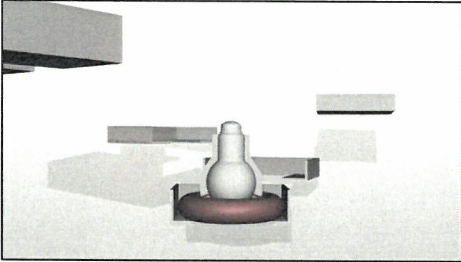
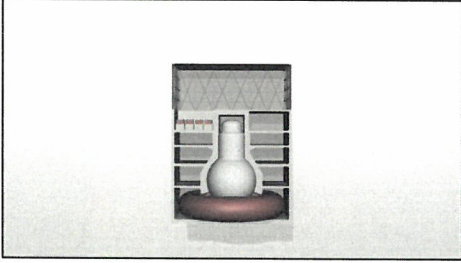
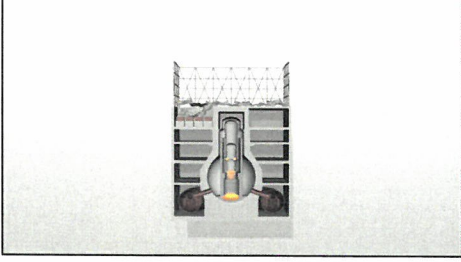
- ◆廃炉の進め方
- ①原子炉格納容器に残る「燃料デブリ」とは、燃料と燃料を覆っていた金属などが溶け、再び固まったもの 非常に高い放射線量を持つ
  - ②放射線量が高い格納容器内の状況を遠隔で確認する  
遠隔操作ロボットの開発、VRシステムの開発など研究開発が行われている
  - ③燃料デブリの取り出しを行う

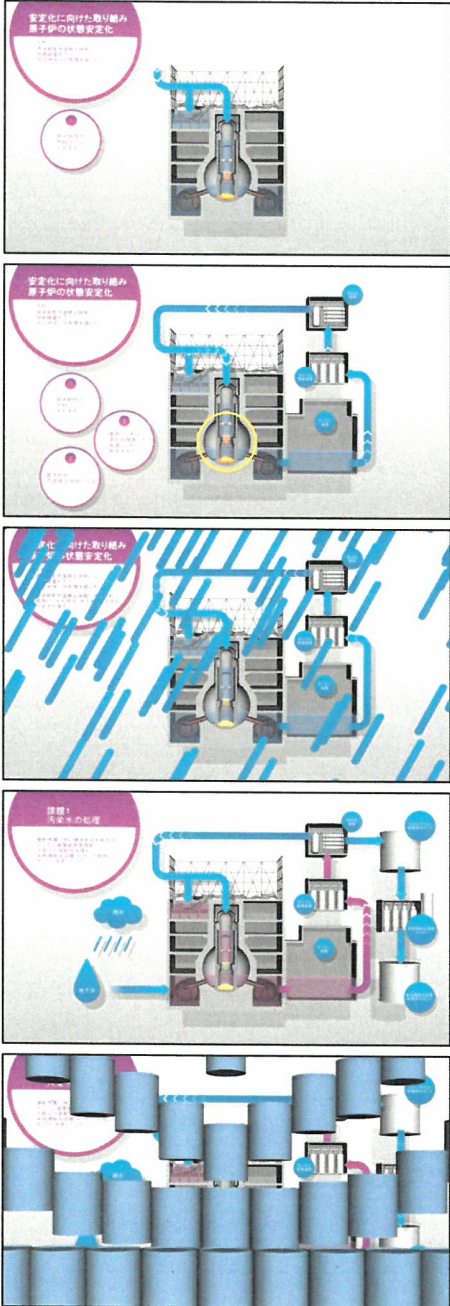
課題2  
労働環境の整備

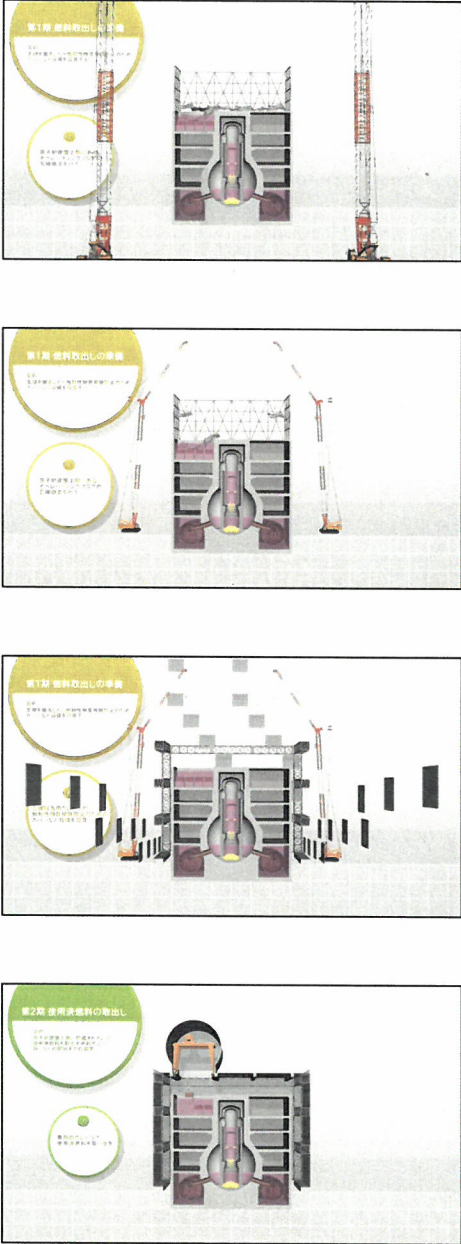
### 第3期 廃止措置終了までの期間 約55秒/2分55秒

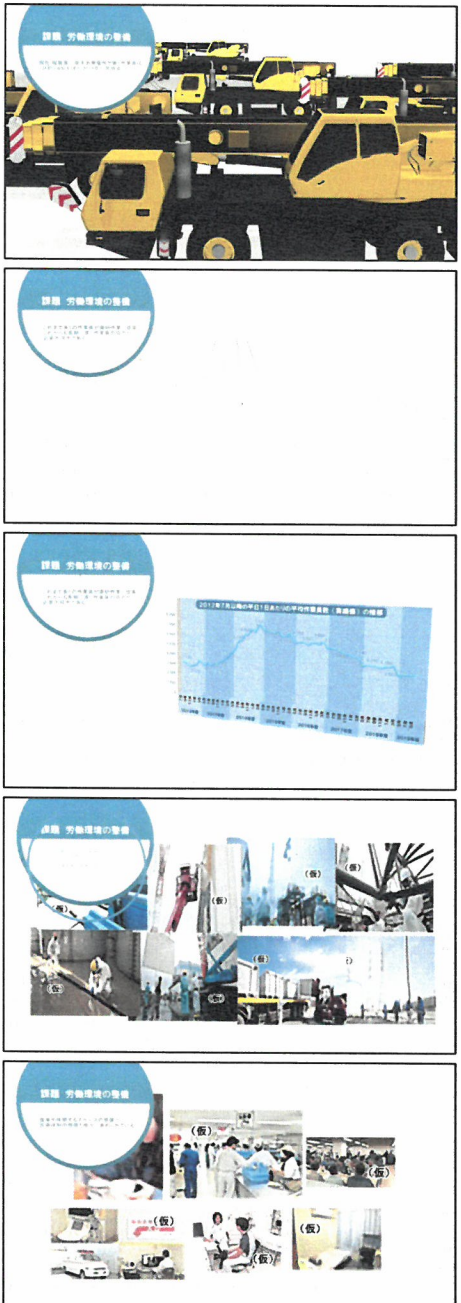
◆目的  
廃炉最終段階 建物と設備の解体

- ◆廃炉の進め方
- ①原子炉周辺にある設備を解体
  - ②原子炉自体を解体
  - ③建屋等を解体し、廃棄物を搬出して廃炉作業完了

Time	映像展開(参考URL)	Image	テロップスーパー
	<p>待機画面からオープニングへ</p> <p>格納容器を模したレリーフにマッピングが投影</p>		
	<p>パーツが集まり</p>		
	<p>原子炉建屋のの形に</p>		
<p>8s/8s</p>	<p>さらに格納容器の壁が透過し炉心が見える</p>		


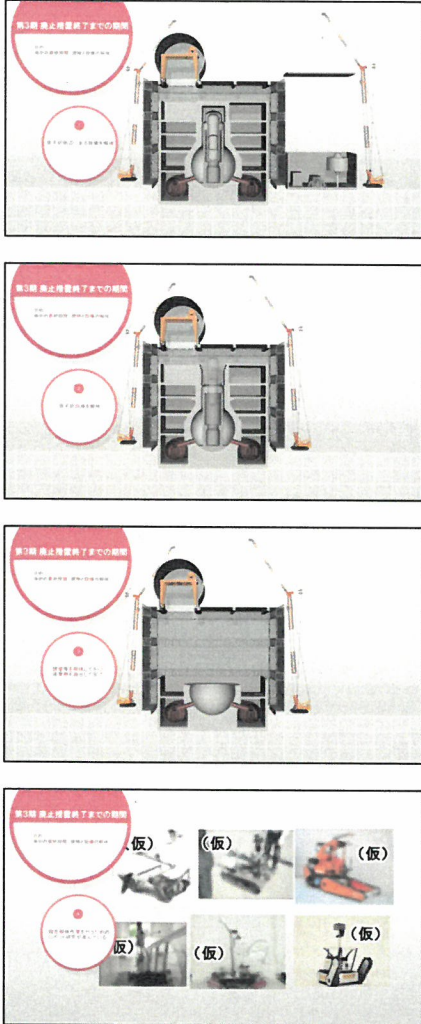
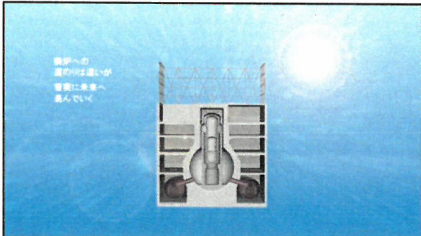
Time	映像展開(参考URL)	Image	テロップスーパー
<p>1m10 s /1m18s</p>	<p><b>安定化に向けた取り組み 原子炉の状態安定化</b></p> <p>ステップタイトルが左側立体的前面に浮き出る</p> <p>◆目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的スーパーが挿入される</li> </ul> <p>◆廃炉の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉建屋の外部にポンプなどが現れ、原子炉内部や燃料プールに注水される</li> <li>原子炉冷却に使われた水がポンプで吸い上げられ、循環し始める</li> <li>原子炉が冷温停止状態になり原子炉の色がオレンジ色から黄色におさまる</li> </ul> <p>原子炉状態安定化参照 一般社団法人 日本原子力産業協会 HPより 福島第一原子力発電所 1~4号機事故の収束に向けた対応状況の概要 <a href="http://www.jaif.or.jp/ja/news/2011/111104status-picture-j-261.pdf">http://www.jaif.or.jp/ja/news/2011/111104status-picture-j-261.pdf</a></p> <p>全体に大きく雨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>原子炉建屋の左右に、雨水や地下水の表記やタービン建屋が現れ汚染水が濃い赤紫で表現される</li> </ul> <p>◆課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課題スーパー登場 レリーフの建屋投影がスケールダウンし、その外側に広がる処理水の流れが全面に現れる</li> <li>汚染水処理方法解説 汚染水の処理参照 東京電力HP 汚染水の浄化処理より <a href="http://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watermanagement/purification/index-j.html">http://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watermanagement/purification/index-j.html</a></li> </ul> <p><b>課題1 汚染水の処理</b></p> <p>多くのタンクで画面が覆われていき次のフェーズへ</p>		<p>安定化に向けた取り組み 原子炉の状態安定化</p> <p>目的 原子炉を冷温停止状態にし放射線量を下げ、周辺地域への影響を減らす</p> <p>(※上記2つのスーパーは以降左端に入りっぱなし)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>原子炉内や燃料プールに水を注水</li> <li>使用した水は浄化処理等して循環しながら再使用する</li> <li>原子炉が冷温停止状態になる</li> </ol> <p>冷温停止状態にするために使用した水や雨水・地下水などを含む汚染水が発生</p> <p>課題 汚染水の処理 (検討中) (※上記スーパーは以降2カット入りっぱなし)</p> <p>廃炉作業に伴い発生する汚染水は、セシウム吸着装置使用後大部分の放射性核種を多核種除去設備(ALPS)で処理し、タンクに保管している</p>

Time	解説内容、映像展開	Image	テロップスーパー
<p>1m12s /2m30s</p>	<p><b>第1期 燃料取出しの準備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レリーフに原子炉建屋、タイトルが左側立体的前面に浮き出る</li> </ul> <p>◆目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的スーパーが挿入される</li> </ul> <p>◆廃炉の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・瓦礫除去用クレーン車などが左右前方から立体的に現れ原子炉建屋上部のがれきを撤去していく</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前方からカバーなどの設備が飛び込んできて設置される</li> </ul> <p><b>第2期 使用済燃料の取出し、燃料デブリ取り出し開始までの期間</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原子炉建屋投影 タイトルが左側立体的前面に浮き出る (使用済燃料が微かな黄色で輝きが足される)</li> </ul> <p>◆目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的スーパーが挿入される</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専用クレーンで次々使用済燃料を取り出していく</li> </ul> <p>使用済み燃料取出し参照 東京電力HP 福島第一原子力発電所3号機使用済燃料プール燃料取り出し 動画より <a href="https://www.youtube.com/watch?v=2BIR5j4pFCg">https://www.youtube.com/watch?v=2BIR5j4pFCg</a></p>		<p>テロップスーパー</p> <p>第1期 燃料取出しの準備</p> <p>目的 瓦礫を撤去したり放射性物質飛散防止のためカバーなど設備を設置する</p> <p>(※上記2つのスーパーは以降左端に入りっぱなし)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 原子炉建屋上部にあるオペレーティングフロアの瓦礫撤去を行う</li> <li>2 瓦礫除去用クレーンや放射性物質飛散防止のためのカバーなど設備を設置</li> </ol> <p>第2期 使用済燃料の取出し</p> <p>目的 原子炉建屋上部に貯蔵されている使用済燃料を取出す 燃料デブリ取り出しの開始までの期間</p> <p>(※上記2つのスーパーは以降左端に入りっぱなし)</p> <p>専用のクレーンで使用済燃料を取り出す</p>

Time	解説内容、映像展開	Image	テロップスーパー
<p>48s /3m18s</p>	<p><b>課題2</b> <b>労働環境の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・投影全面にクレーン車が多数横切る</li> </ul> <p>◆課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クレーン車が消えて、1台のクレーン車の運転手1人がピクトグラムで残る</li> <li>・手前から奥から他の多数作業員のピクトグラムが増えていき立体的に現れ、それらを俯瞰する位置から眺める(膨大な作業員数を想起させる)</li> <li>・課題スーパー登場</li> </ul> <p>・作業員数の推移グラフを挿入 (実際は立体的なグラフにして線を表示させていくなど工夫する)</p> <p>・壁面全体に廃炉作業風景写真が浮かび上がる</p> <p>※要:写真 写真資料は現在仮です。</p> <p>・様々な労働環境改善イメージ写真が次々挿入される</p> <p>作業員の環境参照 東京電力HP 福島第一原子力発電所廃炉作業 取組みに関するご報告 2019.11.26 より <a href="http://www.tepco.co.jp/decommission/information/committee/kenminkaigi/pdf/2019/k191126_02-j.pdf">http://www.tepco.co.jp/decommission/information/committee/kenminkaigi/pdf/2019/k191126_02-j.pdf</a> 東京電力HP 「福島第一原子力発電所は、今」～あの日から、明日へ～(ver.2016.12) 動画より <a href="https://www4.tepco.co.jp/library/movie/detail-j.html?catid=61709&amp;video_uid=pq6c02zu">https://www4.tepco.co.jp/library/movie/detail-j.html?catid=61709&amp;video_uid=pq6c02zu</a> 東京電力HP 私が、お応えします。～働きやすい環境の整備 より <a href="http://www.tepco.co.jp/decommission/visual/answer/work/index-j.html">http://www.tepco.co.jp/decommission/visual/answer/work/index-j.html</a> 東京電力HP 写真集 (作業員の環境イメージ) より <a href="https://photo.tepco.co.jp/cat3/01-j.html">https://photo.tepco.co.jp/cat3/01-j.html</a></p>	<p>Image</p> 	<p>テロップスーパー</p> <p>課題 労働環境の整備 (※上記スーパーは以降2カット入りっぱなし)</p> <p>現在 福島第一原子力発電所で働く作業員は1日約3,600人ほど (2019年11月時点)(検討中)</p> <p>これまで多くの作業員が廃炉作業に従事 これからも長期に渡り作業員の協力が必要不可欠である</p> <p>作業員の安全や健康を守るため労働環境整備も重要</p> <p>現場の放射線量を調べ除染を行う マスクをしないで作業ができるエリアを拡大する</p> <p>食事や休憩するスペースの整備や医療体制の整備も 徐々に進められている</p>



Time	解説内容、映像展開	Image	テロップスーパー
<p>26s /3m54s</p>	<p><b>第3-1期 燃料デブリの取り出し</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レリーフに原子炉建屋、タイトルが左側立体的前面に浮き出る (燃料デブリが濃い紫色で輝きが足される)</li> <li>◆目的                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的スーパーが挿入される</li> </ul> </li> <li>◆廃炉の進め方                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・原子炉建屋の格納容器内の燃料デブリの位置CG再現 実際の燃料デブリの内部映像や写真が出てくる</li> </ul> </li> </ul> <p style="color: red;">※要:写真 写真資料は現在仮です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠隔操作出来る調査用ロボットの写真などが前方向へ次々現れる (様々な機器が検討されていることを想起させる)</li> </ul>  <p>ロボットたちの写真が内部へ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料デブリを取り出す</li> </ul> <p>燃料デブリ取出し参照 東京電力HP 燃料デブリ取り出しの状況 より <a href="http://www.tepco.co.jp/decommission/progress/retrieval/">http://www.tepco.co.jp/decommission/progress/retrieval/</a></p> <p>経済産業省HP 政策特集/今、福島は vol.3 難しい課題への挑戦より <a href="https://meti-journal.jp/p/213/">https://meti-journal.jp/p/213/</a></p>	<p>Image</p> 	<p>テロップスーパー</p> <p>第3-1期燃料デブリの取り出し</p> <p>目的 格納容器内の状況を確認し、燃料デブリを取り出す</p> <p>(※上記2つのスーパーは以降左端に入りっぱなし)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 原子炉格納容器に残る「燃料デブリ」 燃料と燃料を覆っていた金属などが溶け、再び固まったもの 非常に高い放射線量を持つ</li> <li>2 放射線量が高い格納容器内の状況を遠隔で確認する 遠隔操作ロボットの開発、VRシステムの開発など研究開発が行われている</li> <li>3 燃料デブリの取り出しを行う</li> </ol>

Time	解説内容、映像展開	Image	テロップスーパー
<p>48s /4m44s</p>	<p><b>第3期 廃止措置終了までの期間 建物と設備の解体</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レリーフに原子炉建屋、タイトルが左側立体的前面に浮き出る</li> </ul> <p>◆目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的スーパーが挿入される</li> <li>・建屋がカバーで覆われる</li> </ul> <p>◆廃炉の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原子炉建屋を覆っているカバーの周囲に付属設備が奥(背後)から現れる(未確定につき検討)</li> <li>・周囲の設備が解体される(要素が減っていく)</li> <li>・原子炉自体の中心部など次々解体されていく(未確定につき検討)</li> <li>・その後、原子炉建屋自体も解体されていく</li> </ul> <p>※要:写真 写真資料は現在仮です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・解体を行うためのロボット開発の紹介</li> </ul>  <p>建物と設備解体の参照 <a href="https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku_gas/genshiryoku/pdf/020_04_00.pdf">https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/denryoku_gas/genshiryoku/pdf/020_04_00.pdf</a></p>		<p>テロップスーパー</p> <p>第3期 廃止措置終了までの期間</p> <p>目的 廃炉の最終段階、建物と設備の解体</p> <p>(※上記2つのスーパーは以降左端に入りっぱなし)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 原子炉周辺にある設備を解体</li> <li>2 原子炉自体を解体</li> <li>3 建屋等を解体してさらに廃棄物を搬出して完了</li> <li>4 現在解体作業を行うためのロボット研究が進んでいる</li> </ol>
<p>5s /4m49s</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最後は投影場所全体清々しく色鮮やかに</li> </ul>		<p>廃炉への道のりは遠いが 着実に未来へ進んでいく</p>